

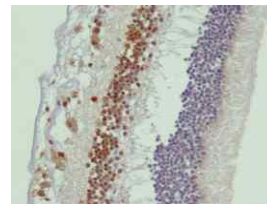
Anti human COUP-TF I mouse monoclonal antibody

COUP-TF I: Chicken ovalbumin upstream promoter-transcription factor I

製品コード	PP-H8124-00 旧コード -
Clone No.	H8124
Lot.	A-1
濃度	1mg/mL
容量	100 μ L
Ig class	G2a
Nomenclature	NR2F1
Genebank	X12795
由来	ヒトCOUP-TF I (6-81 aa) の Baculovirus 発現物を免疫した BALB/c マウスの脾臓細胞と、マウスミエローマ細胞 (NS-1) を融合して得たハイブリドーマを、BALB/c マウスに接種して得られた腹水。
特異性	ヒトCOUP-TF Iと特異的に反応する。ヒトCOUP-TF II, EAR2 には反応しない。マウスおよびラット COUP-TF I と交差反応する。
精製法	硫酸塩析法
溶媒	生理的食塩水 防腐剤として0.1% NaN3添加

Application 使用濃度は実験にあわせて至適化が必要です。

Western Blot	可 参考使用濃度 適宜調製してください
非還元 Western Blot	可 参考使用濃度 適宜調製してください
ELISA	可 参考使用濃度 適宜調製してください
免疫沈降	未検討 参考使用濃度 -
Supershift Assay	未検討 参考使用濃度 -
クロマチン免疫沈降	未検討 参考使用濃度 -
免疫染色	可 参考使用濃度 10 μ g/mL



ヒト
網膜/内顆粒層, 神経細胞層
パラフィン切片

保存方法 1ヶ月程度の保存の場合は、2~8°Cで保存可能です。長期保存の場合は、抗体を小分けした上で、-20°C以下での保存をお勧めします。また、凍結融解を繰り返すと、抗体が劣化し、本来の性能が得られない場合があるため、お避けください。

参考文献

備考 溶媒に含まれるNaN3は、鉛や銅と反応し爆発性化合物を形成する恐れがあります。廃棄の際には大量の水と一緒に希釈して廃棄してください。

FOR RESEARCH ONLY. NOT FOR USE IN HUMANS.

本製品は研究目的のみで使用することができます。人やそのほか動物の疾病診断、治療・予防に使用することはできません。研究目的以外で使用する場合は、あらかじめ弊社にご相談ください。

MADE IN JAPAN

Apr 23, 2008